※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１３

令和８年度　情報科

教科	情報科	科目	コンピュータデザイン実習	単位数	２単位	年次	３年後期
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学校や身の回りのものに関するデザインの表現方法考え、自らの思いや考え等を図やイラスト写真を用いて表現する方法を学びましょう。
・既存の作品等からイメージを膨らませ新しい作品を創造してきましょう。

2　学習の到達目標

・文字・画像などの特色や活用法を学ぶ。
・図形や画像による表現技法を習得するとともに、自発的、創造的な学習態度を育てる。
・情報を活用する能力と態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解している。 社会の中で必要とされる情報技術を理解し、その知識と技術を自らの将来に応用することができる。また、その技術を適切に活用している。	課題制作において、必要な情報を判断し選択することができ様々な表現に対する創造的な能力を身に付けている。 課題制作において、必要なソフトウェアと使用する機能を選択することができる。	作品制作の情報収集を積極的に行い、課題の改善･向上を目指して主体的に取り組もうとしている。 課題の趣旨を理解し、主体的に課題制作に取り組んでいる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間まで	写真を用いた表現	・ポスターの考察 ・動画編集ソフトの基本操作習得	a:特徴を理解し、編集・表現方法等を変えることができる。また、動画編集ソフトを効果的に使用することができる。 b:伝えたい内容に応じて、表現の工夫をすることができる。 c:自分のアイデアを形にするために様々な工夫を行い、課題に取り組むことができる。	提出作品 相互評価	ワークシート	授業態度 発表
後期期末まで	身の回りの物へのデザイン	・身近なものへのデザインの考察 ・動画編集ソフトの応用 ・製作実習 ・ポートフォリオの作成	a:　デザインの意図や意味を理解し、適切に表現することができる。 b:　自ら創造し、新しい表現を行うことができる。 c:様々な手法を活用し、自らの思いや考えを作品に込め製作することできる。	提出作品 相互評価	ワークシート	授業態度 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度